

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	1 千葉県における河川環境整備の推進																								
計画の期間	平成25年度～平成29年度					交付対象	千葉県																		
計画の目標																									
・水質汚濁の甚だしい手賀沼において、湖沼水質保全特別措置法に基づく湖沼水質保全計画等、関係法令との整合を図りながら、植生帯整備等による水質浄化、水循環健全化を図り、自然環境の保全再生により地域の活性化を推進する。 ・印旛沼において、「印旛沼流域かわまちづくり計画」に基づき、官学民連携によるソフト施策と連携し、治水及び河川利用上の安全・安心、水辺のアクティビティ・観光促進を推進する。 ・生き物や人々にやさしかった昔の坂川の姿に回復・再生することに併せ、防災機能を高める管理用通路を整備することで、人々が集い歴史を創る坂川の流れを創出する。																									
計画の成果目標（定量的指標）																									
・手賀沼においては、法定計画である第6期湖沼水質保全計画に従い、植生帯整備を図りCOD値の削減を図る。 ・印旛沼流域かわまちづくり計画に基づき、一里塚及び水辺拠点の整備を推進する。 ・坂川においては、河川再生計画区間（950m）のうち、重点事業区間内（500m）における管理用通路整備を推進する。		定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値				備考											
						当初現況値 (25当初)		中間目標値 (H27末)		最終目標値 (H29末)															
		年COD75%値を削減する				COD75%値：10		－		COD75%値：8.8															
		植生帯の整備を進める				L=1.1km		－		L=2.1km															
		重点事業区間内の管理用通路整備を推進する。				L=230m				L=380m															
一里塚及び水辺拠点の整備を進める				0箇所				9箇所																	
全体事業費		合計 (A+B+C)		999百万円		A		999百万円		B		0百万円		C		0百万円		D		0百万円		効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)		0.0%	
事後評価（中間評価）																									
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																									
事後評価（中間評価）の実施体制										事後評価（中間評価）の実施時期															
整備計画担当課にて評価を実施。										令和7年3月															
										公表の方法															
										ホームページにて公表。															
1. 交付対象事業の進捗状況																									
交付対象事業																									
A 基幹事業																									
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考										
									H25	H26	H27	H28	H29												
A1	河川	一般	千葉県	直接	千葉県	江戸川圏域総合流域防災事業(坂川)	管理用通路整備 (L=150m)	松戸市							309										
A2	河川	一般	千葉県	直接	千葉県	手賀沼統合河川環境整備事	植生帯整備(L=1.0km)	我孫子市							450										
A3	河川	一般	千葉県	直接	千葉県	利根川圏域総合流域防災事業(印旛沼)	一里塚及び水辺拠点整備 (9箇所)	佐倉市、成田市、八千代市、印西市、酒々井町、栄町							240										
														小計（道路事業）					999						

B 関連社会資本整備事業				(該当なし)												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
合計															0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
D 社会資本整備円滑化地籍整備事																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者		要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															
その他関連する事業																
事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・松戸市地区かわまちづくり計画に基づき管理用通路等の整備を行い、管理用通路上を車両の走行が可能になったことや松戸宿坂川河津桜まつりの会場として利用されるなど、防災性や親水性の向上に寄与している。 ・手賀沼の湖岸に植生帯を造成により、手賀沼に生育していた水生植物を再生や水生植物による水質改善、生物の生息環境の創出などに寄与している。 ・「印旛沼流域かわまちづくり計画」に基づき、親水性を高める水辺拠点の整備と併せて護岸等を整備し、会場としての活用や護岸の強度向上などに寄与している。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	年COD75% 値を削減する	最終目標値	8.8【COD75%値】	目標値と実績値 に差が出た要因	本事業を含め関連施策を進めたものの、植物プランクトンの増殖による内部生産が想定以上に進んだため。
		最終実績値	9.7【COD75%値】		
	植生帯の整備を進める	最終目標値	L=2.1km	目標値と実績値 に差が出た要因	整備範囲や工法の選定にあたり、関係者等との調整に時間を要したため。
		最終実績値	L=1.5km		
	重点事業区間内の管理用通路整備を推進する。	最終目標値	L=380m	目標値と実績値 に差が出た要因	用地買収の難航によるため。
		最終実績値	L=260m		
	一里塚及び水辺拠点の整備を進める	最終目標値	9箇所	目標値と実績値 に差が出た要因	整備箇所の選定や基盤整備の設計にあたり、関係市等との調整に時間を要したため。
		最終実績値	4箇所		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の 発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
本計画完了後も引き続き、社会資本整備総合交付金等により、計画的に事業を推進する。					